

# 【学校教育専攻】 2022 採用試験 合格者インタビュー ②

## 1 教員を目指した理由は？

私が教員を目指したのは、障がいのある人と身近に接する中で、うまく言葉を使えない子どもにも表情などでコミュニケーションをとる先生の姿を見て、こんな先生になりたいと思うようになりました。通常学級でも支援の必要な子どもが増えているので、特別支援を学んだことを生かし、学級担任の仕事に生かしていきたいです。もともと先生をするなら、生まれ育った堺市でやりたいと思っていたので、夢がかなってうれしいです。

## 2 大阪大谷はどうだった？

教員になるという、同じ夢や目標を持つ友だちと出会えたことが大きかったです。1回生のときに仲良くなって、4年間一緒に学べて楽しかったです。先生方には、一人一人の学生に親身に寄り添ってもらい、授業でも質問や疑問に丁寧に答えていただきました。少人数で学んだことも、私にとって良かったです。

ゼミでは、読み書きが困難な子どもへの指導を研究しています。先生になってからの子どもの支援に役に立てるようにしたいと思っています。



**川原 美沙さん**  
(小学校教諭コース)  
**堺市**  
**小学校 合格！**

## 3 採用試験はどうだった？

3回生の12月ごろから「教職教養」の勉強を始め、2月からは「SPI」も含めて、1次試験の対策に取り組みました。過去問を解いたり教職センターの講座に参加し、「一般教養」では数学や理科を中心に勉強しました。4回生になってからは、小学校の専門試験の問題に取り組みました。当日の面接では、場面指導で「ヤングケアラーの子どもへの指導はどうするか」「ICTをどのように活用するか」などと問われ、今までの面接練習を生かして、自信をもって伝えることができたと思います。

## 4 教員を目指す高校生にメッセージ

私は高校のときから、保育職や教員を目指す友だちが多く、先生になりたいと思って教育学部を目指しました。けれども、入学したときには、そこまで目標が明確であったわけではありません。

大阪大谷大学で学ぶことで、1回生から素敵な仲間と出会い、授業や先生方の話を通して、教員のよさややりがいなどを感じ、次第に教員を目指す思いがしっかりと固まってきたと感じています。特別支援のことも学べ、教員採用試験対策にも手厚い大学だと思います。